

タイムテーブル

2026. 2.11 水・祝 10:00 START

10:00	10:05 第①部 深川勝三監督 資料寄贈記念企画 「深川勝三監督 資料寄贈作品の紹介(仮)」 <small>解説：大館 信広</small> <small>100th ANNIVERSARY FUKAGAWA KATSUZO 1924-2024</small>	 
10:30	10:30 特別上映 バリアフリー日本語字幕 『私たちの話し方』	
12:30	12:45 アフタートーク <small>ゲスト:マルコ・ン(吳祉昊)氏</small>	
13:05	～休憩～	
14:00	14:00 映像制作ワークショップ報告会 <small>2025年9月に愛知大学で開催した映像制作ワークショップの成果報告として、参加者が制作した作品を上映します。</small>	  <small>今村 彩子 [映像作家] 上田 謙太郎 [映像作家]</small>
14:40	～休憩～	
15:00	15:00 第③部 第21回映像作品コンクール 審査結果発表・授賞式	
15:30	15:30 応募作品の上映	
16:00	クロージング (閉会の言葉) <small>手話ナビゲーター</small> 水本 博司 <small>「目で聴くテレビ」キャスター</small>	

※当日のスケジュールは予告なく変更する場合があります。

目でとらえる世界の、その先へ。

第21回
 さがの映像祭
 SAGANO DEAF MOVIE FESTIVAL in KYOTO

2026.
2.10 火 応募作品上映会 [観客投票あり]
 ①15:30～ ②16:30～
 10日のみ入場無料

2.11 水・祝 特別映画上映、作品コンクール発表
 10:00～16:00

会場：ヒューリックホール京都

[主催] 第21回さがの映像祭実行委員会
 [事務局] 社会福祉法人全国手話研修センター、認定NPO法人障害者放送通信機構
 [後援] 一般財団法人全日本ろうあ連盟、京都市

第21回さかの映像祭へようこそ！

第21回さかの映像祭の開催にあたり、ご来場の皆さまに心より御礼申し上げます。

手話施策推進法が制定され、文化芸術活動などを通じて、手話を用いた表現の保存や継承、発展を図る取組が制度として位置づけられました。さかの映像祭は、ろう者・難聴者による映像表現を通して、手話を用いた表現や、その背景にある経験や視点を共有する場として歩んできました。

2025年度の映像祭は、2017年度(第14回さかの映像祭)以来9年ぶりの2日間開催となります。また、今年度より京都市の後援をいただき、あわせてArts Aid Kyotoの助成を受けて開催できることとなりました。長年の取り組みが、地域に根ざした文化的な実践として評価されつつあることを、大変心強く感じております。

2025年9月には映像制作ワークショップを開催し、受講者の中から本映像祭に作品の応募がありました。映像作品コンクールには9作品の応募があり、本映像祭では受賞作品を皆さまと共に鑑賞いたします。

さらに特別上映として、全国ロードショーに先駆けた作品を上映します。あわせて、日本初のろう映画監督・深川勝三監督の資料が手話総合資料室に寄贈されたことをご紹介します。本映像祭が、映像表現の現在とこれからを考える機会となれば幸いです。

第21回さかの映像祭実行委員会
委員長 高山 正紀



審査員(五十音順)

今井ミカ
映画監督
株式会社サンドプラス

今村彩子
映画監督
Studio AYA代表

大館信広
審査委員長
映画監督
デフムービーエンターテインメントプロディア代表

金山智子
情報科学芸術大学院大学 教授

古厩智之
映画監督
京都芸術大学 映像学科 教授

2024年
金馬獎 最優秀主演女優賞
(ジョン・シュツイン)受賞

2025年
香港電影金像獎
7部門ノミネート



『私たちの話し方』

バリアフリー日本語字幕

本作の主人公は、異なる環境で育った3人の20代のろう者。3歳で聴覚を失い、人工内耳を装着して「聴こえる人」として“普通”の生活を送ろうとしているソフィー。生まれながらのろう者として手話話者であることに誇りを持っているジーソン。手話と口話を使いこなすバイリンガル、人工内耳装着者のアラン。手話を禁じて、口話教育を推進するろう学校で出会ったジーソンとアランは、お互いの環境の違いを感じながらも、親友のまま大人になる。

人工内耳を推奨するアンバサダーとしてアランとソフィーは出会うが、人工内耳の推進イベントで「科学が発展すれば、この世からろう者はいなくなる」とソフィーが語ったことに、ジーソンが激怒して――。

監督：アダム・ウォン(黄修平)

出演：ネオ・ヤウ(游學修)、ジョン・シュツイン(鍾雪瑩)、マルコ・ン(吳祉昊)

2024年/香港/広東語・香港手話/132分/カラー

原題：看我今天怎麼說 英題：The Way We Talk

字幕：最上麻衣子 字幕監修：Palabra株式会社 配給：ミモザフィルムズ

© 2024 One Cool Film Production Limited, Lee Hysan Foundation. All Rights Reserved.

第21回映像作品コンクール 応募作品

さがの映像祭は、ろう者・難聴者による映画・映像作品を、制作経験の浅い方から経験を重ねた制作者まで幅広く応募できる、全国でも数少ない映像フェスティバルです。本年度の映像作品コンクールには、9作品の応募がありました。ドラマ仕立ての作品やコメディ、アーティスティックな映像など、ジャンルも多様で、それぞれに個性ある表現が見られます。

応募作品は、一般部門7作品、情報提供施設部門2作品です。全作品を2月10日（火）に上映し、映像祭終了後、3月15日まで本映像祭のWEBサイトにて公開予定です。

大賞に選ばれるのはどの作品となるのか、また、授与が限られている深川勝三・睦賞の選考結果にも注目が集まります。本年度の映像作品コンクールの見どころの一つです。

WEBサイト・YouTubeにて配信予定 ~ 3月15日 日 まで



一般部門(7作品)



『テレビ』

ねこたろう / 大阪府
2分21秒/2025

[テーマ]
テレビを通して、聴覚障害者としての葛藤と変化を描きました。

[作品内容]
家にある身近な物「テレビ」と、耳の聞こえない子どもから大人へと成長する姿を描いた物語です。1953年にテレビが普及し家族団らんの中心となる一方、楽しめない人もいました。時代が進み字幕放送が始まり、デフファミリーや、ろう者と聴者が共にテレビを楽しむ風景が当たり前になっていきます。

[コメント・プロフィールなど]
大阪市生まれ。健聴の家族の中で育ち、幼少期はテレビの代わりに漫画や童話、絵に親しみました。現在はYouTubeや漫画、手芸が好きです。今回が初めての映像制作で、今後も自身の経験をもとに、ろうの世界を発信していきたいと考えています。

『火の鳥』

鈴木 いちご / 北海道
34秒/2025

[テーマ]
未来へ向かって羽ばたく。

[作品内容]
こちらの作品は火の鳥が飛ぶ様子を描いたアニメーション作品です。火の中から鳥が生まれ、なにもにも縛られず、新たないろんな可能性を、どんどん生み出して羽ばたいていきます。

[コメント・プロフィールなど]
北海道高等聾学校の情報デザイン科の生徒で、色々なデザインに挑戦しています。高校生時代は美術部での活動で、高文連にて全道優秀賞をとったりしています。

『服聲』

梅田 雅人 / 福井県
5分27秒/2025

[テーマ]
服は、私のメッセージ。手話と同じように。

[作品内容]
ろう者が服を通して自分を表現し、人とつながりファッションを楽しむ。

[コメント・プロフィールなど]
制作歴なし。2025年9月20日・21日に開催された、ろう者・難聴者向け映像制作ワークショップに初めて参加しました。そこで学んだことを活かし、今回の作品ではファッションが好きな自分の思いを込めて「服聲」を制作しました。服を「もうひとつの手話」として捉え、手話のように服でも心を伝えられることを映像で表現しています。静かな世界にも、豊かなコミュニケーションがあることを伝えたいと思います。

一般部門



『ロボットさん』

伊藤 徹也 / 大阪府
8分35秒/2025

[テーマ]
幸せとは何かということ

[作品内容]
そのロボットは、病気の女の子のお世話をしています。ところがある日…

[コメント・プロフィールなど]
趣味で短編の映像作品の製作等を行っています。囲碁のマンガやイラストもTwitterで描いています。
(@tororo2048) よかったら見てみてください…

聴覚障害者情報提供施設部門(2作品)



『みんなで応援! デフリンピックキャラバン in 兵庫』

兵庫県立聴覚障害者情報センター
小野 多恵子 / 兵庫県
13分34秒/2025

[テーマ]
キャラバンカー
～想いを乗せた7日間の記録～

[作品内容]
全国を巡るデフリンピックキャラバンカー。兵庫での各市長をまわった数日間を追い、徳島からの引き継ぎ、各市での出会い、選手の熱意や受け継がれる思いを記録として残したドキュメント。



『和歌山県手話サークル連盟 50周年』

和歌山県聴覚障害者情報センター
田村 大希 / 和歌山県
10分06秒/2023

[テーマ]
和歌山県手話サークル連盟創立50周年

[作品内容]
和歌山県手話サークル連盟は2025年で創立50周年を迎えましたが、2年早めに記念大会を開催されました。約5年間、会長を務めた酒井さんによる「未来へ 仲間と共に」をテーマに記念講演を行いました。

[コメント・プロフィールなど]
盛大に開催された和歌山県手話サークル連盟をご覧ください。

一般部門



『毎日沢山動画作頑張』

齊藤 翔 / 北海道
18秒/2025

[テーマ]
苦手な「運動」をテーマに動画作成しました。

[作品内容]
いろいろな筋トレを組み合わせ、頑張っている自分の姿をトレースして、お洒落に加工しました。
[コメント・プロフィールなど]
初めての動画作品です。



『優の冒険』

井上 由紀夫 / 東京都
8分46秒/2025

[テーマ]
これは「おつかい」という名の「冒険」なのだ

[作品内容]
きこえる過保護なママと、きこえるお調子者のパパ、そしてきこえない女の子。ママが心配する一方で、パパは娘に「おつかい」という大きなミッションを託す。誰かを思う気持ちが人を強く優しく成長させる。これは、おつかいという名の冒険なのだ。

[コメント・プロフィールなど]
手話通訳を介してろう者と聴者で制作しました。多くの方に手話を知っていただき、ろう者に対する理解が社会に広がって欲しいと思っています。ろう者の暮らしと権利を守りたいと思っています。



『令和6年障害者週間啓発動画』

亀岡市 障がい福祉課
田中 勇吾 / 京都府
5分47秒/2024

[テーマ]
『守ろう! みんなの権利 幸せつなぐコミュニケーション』

[作品内容]
視覚や聴覚に障がいのある人にも伝わるように、音声、手話、字幕付きの啓発動画を毎年作成しています。亀岡市の観光PR大使や市職員による手話リレーメッセージや障がい福祉に係る事業等をSNS等で啓発しています。

[コメント・プロフィールなど]
亀岡市障がい福祉課では令和3年度より毎年、障害者週間に向けて啓発動画を制作しています。よりみんなに伝わる動画制作を心がけております。

第21回さかの映像祭 プレイベント 映像制作ワークショップ 開催レポート

2025年9月、愛知大学豊橋キャンパスにてさかの映像祭として初めての
プレイベント「映像制作ワークショップ」を開催しました。



出会いから始まる映像づくり

中学生から社会人までが参加。
少人数ならではの丁寧な指導のもと、撮影を体験しました。



撮影レクチャー



インタビュー撮影



大館講師によるアドバイス

撮影・編集・上映へ

素材を共有し、それぞれの視点で再構成。
字幕やタイトル制作まで行い、作品を完成させました。



ラッシュ確認



チーム撮影①



チーム撮影②

上映会

完成作品はその日のうちに上映。
「つくる達成感」「人に見てもらふ喜び」を一人ひとりが実感する時間となりました。



PCによる編集作業



地域の人を招いての上映会



今村講師より所感

今回制作した作品は、2026年2月開催「第21回さかの映像祭」にて報告上映予定。



100th ANNIVERSARY
FUKAGAWA KATSUZO
1924-2024

ろう映画の先駆者 「深川勝三」監督の資料寄贈リスト

日本で最初のろう映画監督である深川勝三氏が使用していたカメラやフィルム、映画作品、書籍などが、
この度、全国手話研修センター「手話総合資料室」に寄贈されることになりました。

資料分類	タイトル/品名	発行日	編集者	発行元
冊子	楽しき日曜日	1961	不明	睦聾啞映画演劇研究会
	睦 (1965)	1965	不明	
	三浦浩翁半生記 (前編)	1962	不明	
	三浦浩翁半生記 (後編)	1963	不明	
	三浦浩翁半生記 (完結編)	1964	不明	
	楽しき日曜日	2007	小畑文子	睦ろう映画友の会
	三浦浩翁半生記	2009.9	小畑文子	
	たき火	2013.5.25	大館信広	
上映プログラム	たき火	2024.12.1	大館信広	深川勝三生誕100年記念プロジェクト
	深川勝三と睦聾啞映画演劇研究会	2024.8.10	大館信広	
	記念披露会	2023.12.23	大館信広	
	楽しき日曜日リバイバル上映会	2024.3.31	大館信広	
	深川勝三と昭和	2024.5.25	大館信広	
映像機材	三浦浩翁半生記リバイバル上映会	2024.9.1	大館信広	睦聾啞映画演劇研究会
	たき火リバイバル上映会	2024.12.1	大館信広	
	8ミリフィルムカメラ	不明	深川勝三	
	8ミリフィルム映写機	不明	深川勝三	
	8ミリフィルムエディタ	不明	深川勝三	
	8ミリフィルムエディタ用ランプ	不明	深川勝三	
	スプライサー	不明	深川勝三	
	ダイヤスーパータイター	不明	深川勝三	
	カメラ用照明ランプ	不明	深川勝三	
8ミリフィルム用リール	不明	深川勝三		
アルミ製トランス	不明	深川勝三		
記念額	台湾省聾啞福祉協会からの表彰額	1966.11	深川勝三	睦ろう映画友の会
楽しき日曜日	2004	大館信広		
三浦浩翁半生記	2009	佐藤 茂		
映像媒体	たき火	2013.5	大館信広	深川勝三生誕100年記念プロジェクト
	楽しき日曜日	2024.3.31	大館信広	
	三浦浩翁半生記	2024.9.1	大館信広	
	たき火	2024.12.1	大館信広	
	睦ニュース	2023.12.23	大館信広	